

地域のかかりつけ薬局として調剤専門「サン薬局」を展開

株式会社関西メディコ 奈良県生駒郡平群町

株式会社関西メディコは、保健調剤専門チェーン「サン薬局」を奈良県下中心に44店舗を展開。コンピュータによるデータ管理を基に、ヒューマンリレーションを重視した相談のできる「かかりつけ薬局」として、患者と医院・病院双方の信頼を得て地域密着を強めている。

患者からも、そして医院・病院からも、合理的・効率的な調剤が求められる中、同社では店舗間オンラインによるデータ管理、スピーディーな配送システム、プロスタッフの育成システムの3つのシステムを柱として構築し、医薬・医療の将来を見据える目を発展の原動力としてきた。

会社概要



会社名：株式会社関西メディコ
所在地：奈良県生駒郡平群町上庄
1-14-12

電話：0745-45-3993

FAX：0745-45-6591

設立：平成元年

代表者：代表取締役 安井 将美

資本金：5,000万円

従業員：335名

事業：処方せん調剤「サン薬局」、
有料老人ホーム「ひまわり生駒苑」、医療コンサル
タント業務

URL：<http://www.kansaimedico.co.jp>



本社の薬品庫から全てのチェーン薬局に1時間以内に配送

医薬品のプロとして地域の医療に貢献

株式会社関西メディコは、保健調剤専門チェーン「サン薬局」を奈良県下中心に44店舗を展開。また、高度で専門的な調剤ニーズに、充分に応えるため、店舗展開は全て管理の行き届く直営店舗として展開しており、安心・安全面でも万全の体制が取られ、着実に店舗網を拡大してきた。

創業者である安井将美社長は、大手の薬卸商社、製薬会社と、医薬品関連でのサラリーマン勤務を経て独立、現在まで40年以上に渡るキャリアを調剤医薬品販売に生かすことが使命であるとして、新しい医薬品販売のあり方を見据えて事業展開に取り組んでいる。

地域密着を支える3つのシステム

患者からも、また医院・病院からも、合理的・効率的な調剤が求められる中、同社は多店舗化に加え3つのシステムを柱として応えてきた。

■的確な処方箋チェック（コンピュータシステム）

サン薬局各店舗間をオンラインで繋いで薬歴を管理し、患者の状況をいつでもどこでも的確に判断し適切なアドバイスをすることができる。

■豊富な在庫とスピーディな配送システム

本社内の薬品庫には約6000種類の保健薬が備蓄され、全国的にみても最高水準の品揃えを持つ。

これにより、各店舗からの注文に即応できる配送システムを可能とし、また、店舗に在庫のない場合は、配達専任者が患者宅へ直送する。

■スタッフ養成システム

調剤薬局の薬剤師は、患者に直接対応する臨床薬剤師として幅広い知識が要求されるため、全てのスタッフがマルチに仕事をこなせるように、常にスキルアップが図られている。

また、調剤実務未経験者は、まず研修店にて2カ月間の研修を受け、実際に院外処方に触れ、患

者への服薬指導を体験した後、各店舗へというシステムとなっており、全てのスタッフが真にプロフェッショナルな薬剤師として配属される。

薬局から医薬サービス業へ、そして…

症状ごとに異なる医科や医院で診療を受け、それぞれの処方箋に基づき規定量の薬を服用したとしても、たまたま同成分の薬が含まれ、重複投薬により過剰服用になったり、万一の場合、相互作用によりかえって害となる危険性もある。

そこで同社では、調剤薬局の多店舗展開とコンピュータ網によるデータベース化を行い、今までの服薬との相互作用をコンピュータ上でチェックし、真に有効な薬剤服用歴の作成を可能とすることで、患者、医院・病院双方のニーズにいち早く応えてきた。

さらには、国民医療費が膨らみ、政府も薬価引き下げの方向にある中、医院・病院にも薬剤投与の効率化を図るため、処方箋調剤薬局に任せたいとするニーズも高まりつつあるという。

つまり、同社は、調剤薬局から総合的医薬サービス業への転換、そして、健康と安心を求める社会、高齢化社会という変化にも対応した社会的な存在へと転換する中で発展してきたといえる。

また、同社では、ジェネリック医薬品の品揃えにも力を入れている。これは、新開発された先発薬品のうち特許期間が経過したものについて、後発メーカーが同成分の薬品を生産したもので、技術力の高いメーカーにより製造され、品質の信頼性は高い上に、低価格に抑えることができる。

欧米では、ジェネリック医薬品のシェアは半分以上に達しているが、日本においては、まだ20%にも満たない状況であり、今後、需要はますます伸びるとみて対応を進めている。

医薬・医療の総合的なコンビニを目指して

同社が志向する地域密着を図るため、安井社長がとってきた出店戦略はドミナント方式である。

地域的に集中して出店し、サービス効率を最大



「ひまわり生駒苑」全景（同苑パンフレットより）

限にしようとするもので、同社では、配送センターから車で1時間以内の範囲にしか店舗展開していない。

また、平成15年には、高齢化社会の到来に対応して、介護付終身利用型有料老人ホーム「ひまわり生駒苑」を、生駒山系の山並みを眺望できる本社隣接の丘陵地に開設した。

奈良へ電車で20分、大阪まで35分、近隣にはスーパーや大学病院もある便利な立地と、フィットネスや温水プール、カルチャールームなどが完備された施設、さらには看護師や介護士も常駐し、高級志向の老後生活ニーズに対応している。

その他、「医療コロニー」として医療ビルの展開も行い、入居医院には医療コンサルティングのサービスも行う。

そして、人々の日常生活において郊外化が進む現在、展開を図っているのが、医院や薬局店舗を1階建て建物で展開する郊外型の「医療モール」である。特に、アパレルチェーンや食品スーパーと共同での出店の方向性を打ち出し、薬局に処方箋を渡し、買い物をしている間に調剤が済む「待ち時間ゼロ」を目指す。

社会の変化と人々のニーズの多様化、また、コンピュータなどの技術の進歩で、急速に変化する社会情勢の中、まさに、常に見据え、人々の総合的な利便性にいち早く対応する姿勢こそが同社発展の原動力といえよう。（山城、島田）